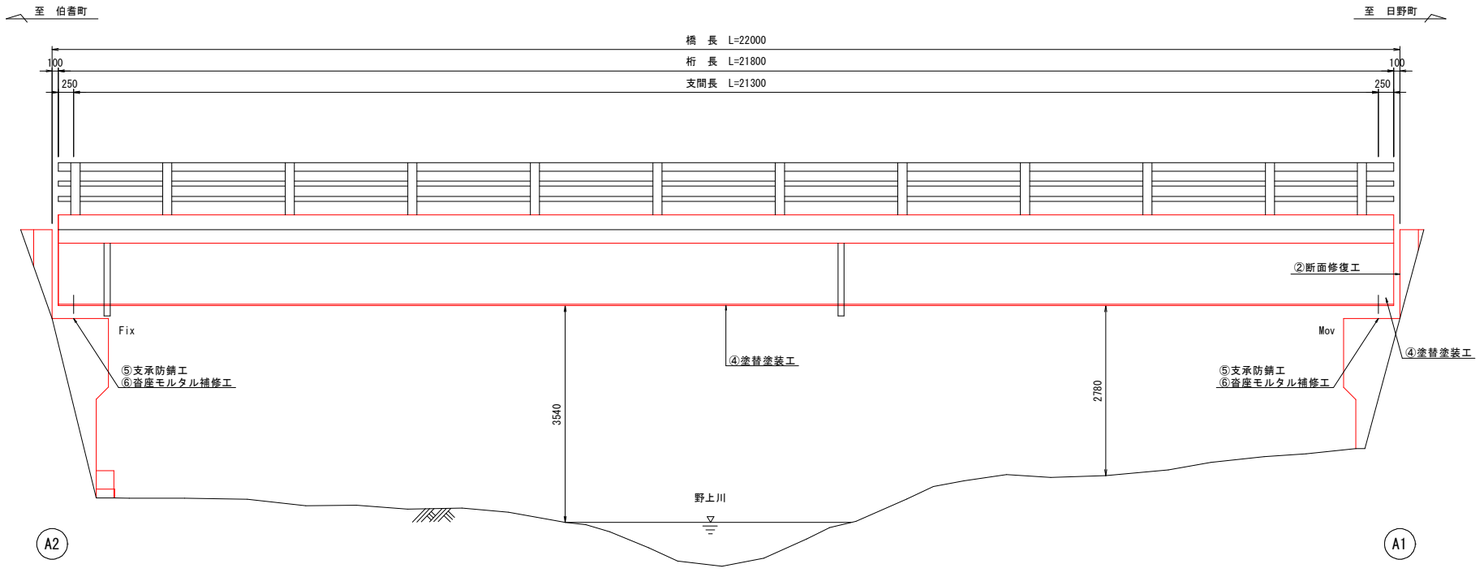
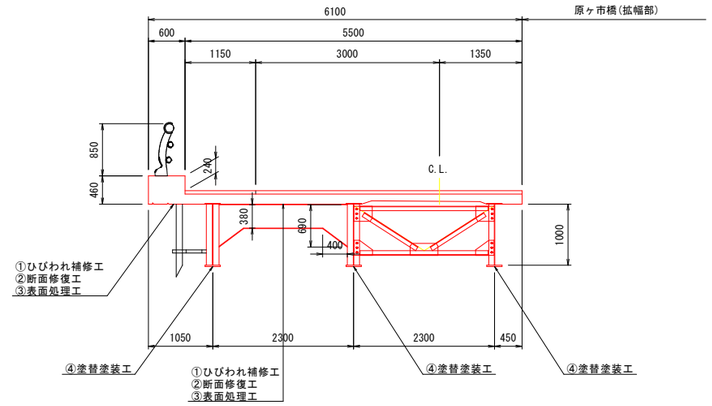
原ヶ市橋　補修工一般図

側 面 図



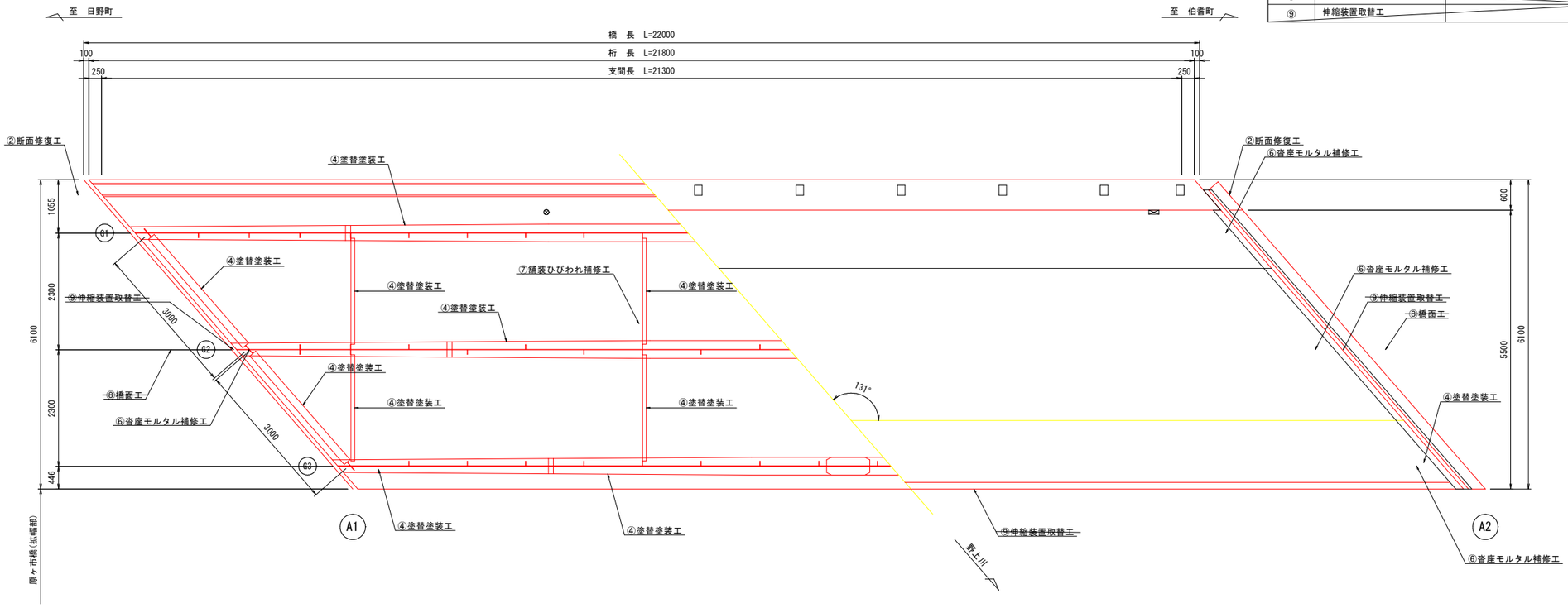
断 面 図



補修項目一覧表

番号	工　種	種　別	規　格	備　考
①	ひびわれ補修工	ひびわれ注入工	エポキシ樹脂1種	床版
②	断面修復工	左官工法	ポリマーセメントモルタル	床版、地覆
③	表面処理工	表面含浸工	高分子系	床版
④	塗替塗装工	2種ケレン	Rc-Ⅱ	主桁、横桁、対傾構
⑤	支承防錆工		シリカ化ブチルゴム	支承
⑥	沓座モルタル補修工		無収縮モルタル	支承
⑦	舗装ひびわれ補修工		常温型クラック目地補修材	舗装（橋面部）
~~⑧~~	~~橋面工~~	~~舗装補修工~~		~~舗装（接続道路部）~~
~~⑨~~	~~伸縮装置取替工~~		~~鋼製ジョイント取替工~~	~~伸縮装置（横目地、縦目地）、地覆遊間~~

平 面 図



起 工　公共

路線名	県道日野溝口線		
県道日野溝口線（原ヶ市橋）橋梁塗装工事（補助）			
図　名	原ヶ市橋　補修工一般図		
位　置	鳥取県西伯郡伯耆町福岡		
縮　尺	1:50	単　位	mm
図　号	全　10　葉中の内　1		
令和　8　年度施行		鳥　取　県	
鳥取県西部総合事務所米子県土整備局			

原ヶ市橋　補修図（その１）

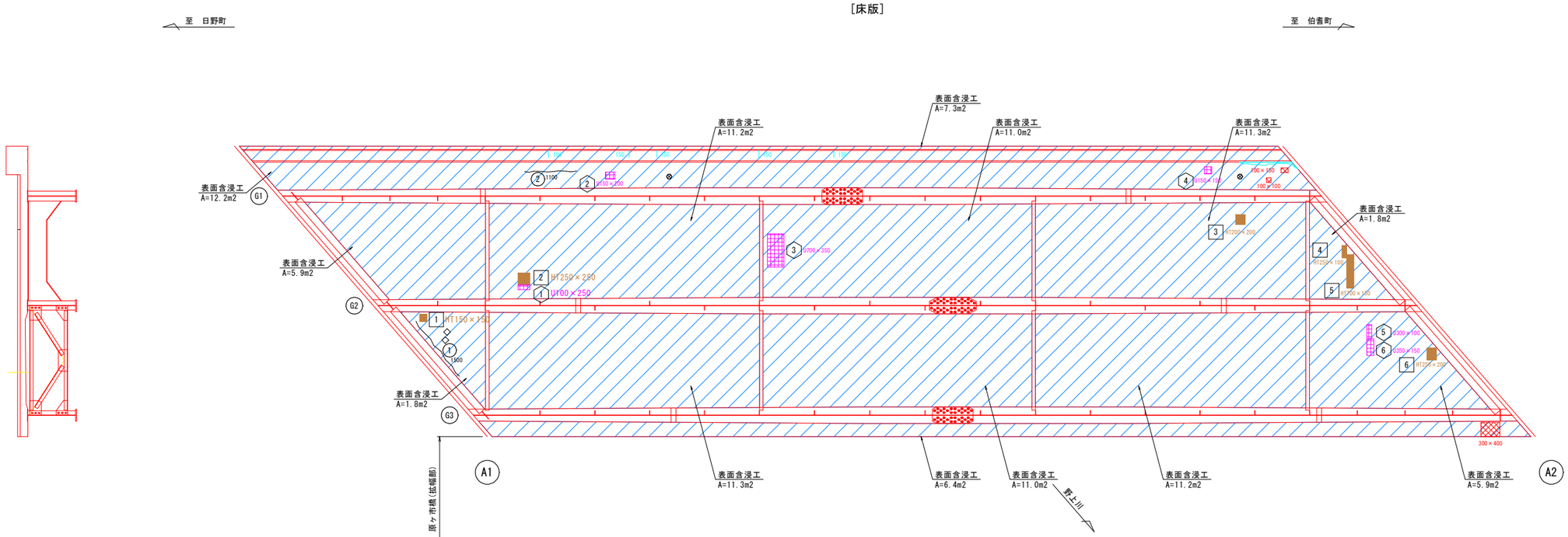
＜ひびわれ補修工、断面修復工、表面処理工＞

損傷凡例			補修対策工
ひび割れ	0.2mm以上～1.0mm未満		ひびわれ注入工
剥離・鉄筋露出	剥離	H	断面修復工
	鉄筋露出	T	
浮　き		U	
			表面処置工

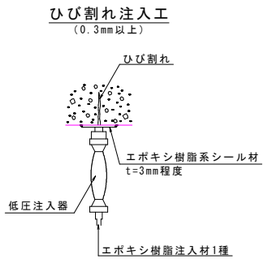
項　目	算　式		
表面含浸工	7.3+12.2+5.9+11.2+11.0+11.3+1.8+1.8+11.3+11.0+11.2+5.9+6.4	＝	108.3　m2

＜桁下面＞

［床版］



ひび割れ補修工（参考図）



注入工に使用する材料は、ひび割れの挙動やその進行性により選定しているため、用途に合致した品質の材料を調達すること。

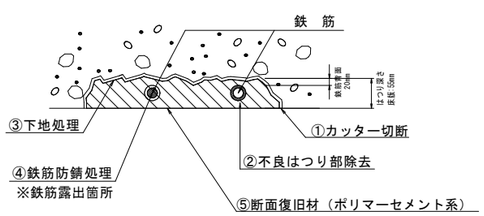
※ 注記

・本図は現地調査結果に基づき作成しているが、いずれも可能な範囲で近接し、確認したものである。したがって施工時には、必ず形状等確認したうえで施工を行う必要がある。

・補修部位の施工に際しては、事前に既設コンクリート面の清掃を行い、数量等の確認をする必要がある。

・ひび割れ補修工のひび割れ深さについては2cmと仮定し数量を算出した。したがって施工時には数量等の変更が想定されるため監督員と協議を行い、数量の変更を行うこと。

断面修復工（参考図）



※ 注記　はつり深さは、下記のように推定している。

＜上部工＞
鉄筋かぶり＝17mm＋鉄筋径16mm＋20mm≒55mm
※鉄筋かぶり、鉄筋径は実測による。

断面修復工は、ハンドカッター等によりフェザーエッジにならないように施工すること。

設計上の斫り深さは、基準に基づいて算出しているため、現地と差異がある場合、補修方針を考慮し適切な修復深さとすること。

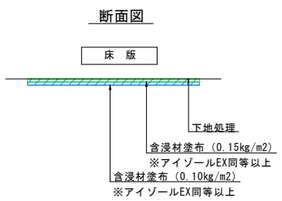
※ 注記

・本図は現地調査結果に基づき作成しているが、いずれも可能な範囲で近接し、確認したものである。したがって施工時には、必ず形状等確認したうえで施工を行う必要がある。

・補修部位の施工に際しては、事前に既設コンクリート面の清掃を行い、数量等の確認をする必要がある。

表面処理工詳細図　S=1:5

断面図



※　施工手順

1　下地処理および清掃工

↓

2　含浸材塗布　2回

↓

3　養生

注記）

1. 含浸材は、アイゾールEXクリアと同等以上の材料を選定し、撥水性およびかぶりコンクリートの緻密化を期待しているため、目的に合致した品質の含浸材を調達すること。
2. 塗布後の色彩は、無色透明とすること。
3. 施工中は、塊の付着による施工不良が懸念されるので、養生を行い、塊の出る工種を平行して行わないこと。
4. 表面含浸材として塗布する表面保護材（高分子系コンクリート保護材）は、仕様と塗布量に十分注意し塗布すること。
5. 塗布面の湿潤度合いにより、出来栄えが左右されるため、塗布前のコンクリート表面においては使用する含浸材の施工要領によること。
6. 採用した含浸材の施工手順書を十分確認して施工すること。
7. ひびわれ補修後、表面処理工を施工すること。
8. ケレン処理および高圧洗浄などにより、塗布面を十分に清掃すること。
下地に汚れやエフロレッセンスなど付着している場合に塗布すると、付着力が低下し、塗膜の剥離の原因となる。
9. 剥離、欠損、不陸部は断面修復工後、施工を行うこと。
10. 不陸部等の修復においては材料の付着性や浸透性を阻害するため、断面修復はポリマーセメント系を使用すること。
11. 不陸部調整等の下地調整工を実施する場合は、必ず金鏝にて仕上げを行うこと。

※下地施工の仕上がりが、含浸材塗布後の最終的な仕上がり表面に反映される。

12. 使用の表面含浸材の特性に合わせた、コンクリート表面の水分管理を行うこと。
13. 施工の適正気温及び養生方法を確認し、施工を行うこと。

ひび割れ注入工数量表
ひび割れ幅0.3mm以上

番号	ひび割れ幅（mm）	延　長（m）
①	0.30	1.50
②	0.30	1.10
	合計	2.60

断面修復工（剥離・鉄筋露出）　数量表

番号	縦(m)	横(m)	面積(m2)
1	0.15	0.15	0.0225
2	0.25	0.25	0.0625
3	0.20	0.20	0.040
4	0.25	0.10	0.025
5	0.70	0.15	0.105
6	0.25	0.20	0.050
		合計	0.305

断面修復工（うき）　数量表

番号	縦(m)	横(m)	面積(m2)
1	0.10	0.25	0.025
2	0.15	0.20	0.030
3	0.70	0.35	0.245
4	0.15	0.15	0.0225
5	0.30	0.10	0.030
6	0.35	0.15	0.0525
		合計	0.405

起　工　公共

路線名	県道日野溝口線		
県道日野溝口線（原ヶ市橋）橋梁塗装工事（補助）			
図　名	原ヶ市橋　補修図（その１）		
位　置	鳥取県西伯郡伯耆町福岡		
縮　尺	1:50	単　位	mm
図　号	全　10　葉中の内　2		
令和　8　年度施行			鳥　取　県
鳥取県西部総合事務所米子県土整備局			

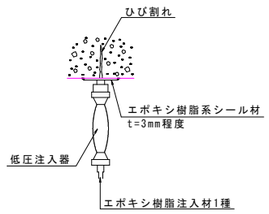
原ヶ市橋　補修図（その２）

＜ひびわれ補修工、断面修復工＞

損傷凡例			補修対策工
ひび割れ	0.2mm以上～1.0mm未満		ひびわれ注入工
剥離・鉄筋露出	剥離	H	断面修復工
	鉄筋露出	T	
浮き		U	
その他（欠損）		欠	

ひび割れ補修工（参考図）

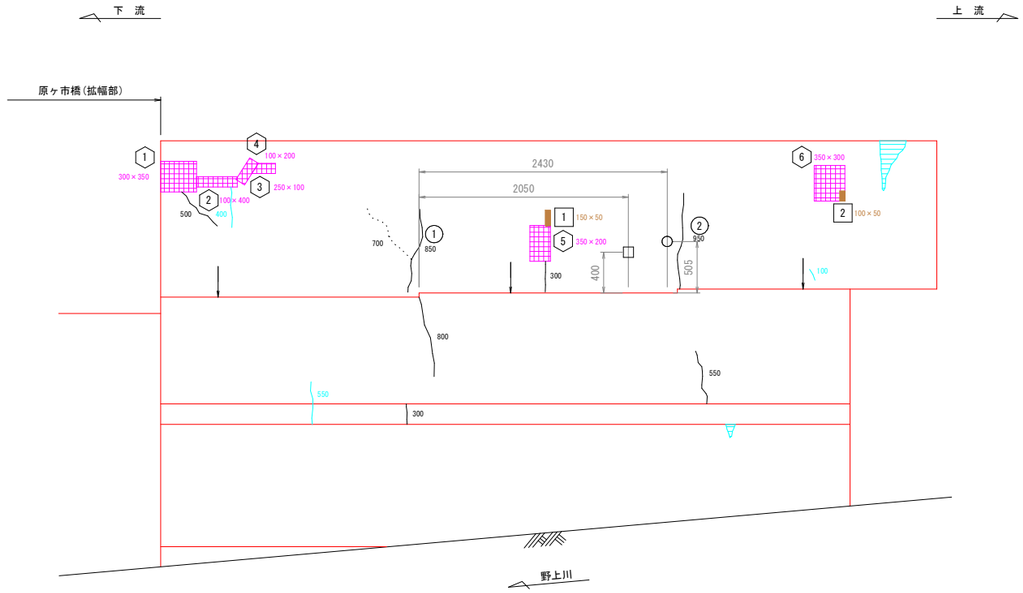
ひび割れ注入工
（0.3mm以上）



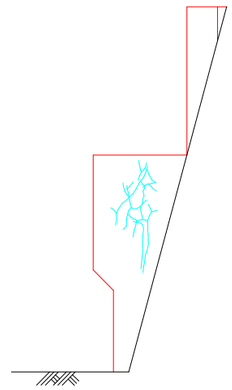
注入工に使用する材料は、ひび割れの挙動やその進行性により選定しているため、用途に合致した品質の材料を調達すること。

※ 注記
- 本図は現地調査結果に基づき作成しているが、いずれも可能な範囲で近接し、確認したものである。したがって施工時には、必ず形状等確認したうえで施工を行う必要がある。
- 補修部位の施工に際しては、事前に既設コンクリート面の清掃を行い、数量等の確認をする必要がある。
- ひび割れ補修工のひび割れ深さについては4cmと仮定し数量を算出した。したがって施工時には数量等の変更が想定されるため監督員と協議を行い、数量の変更を行うこと。

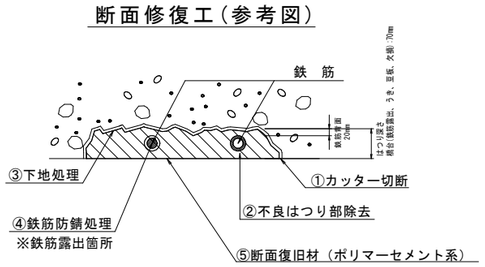
A1橋台



上流側側面



断面修復工（参考図）



※ 注記　はつり深さは、下記のように推定している。

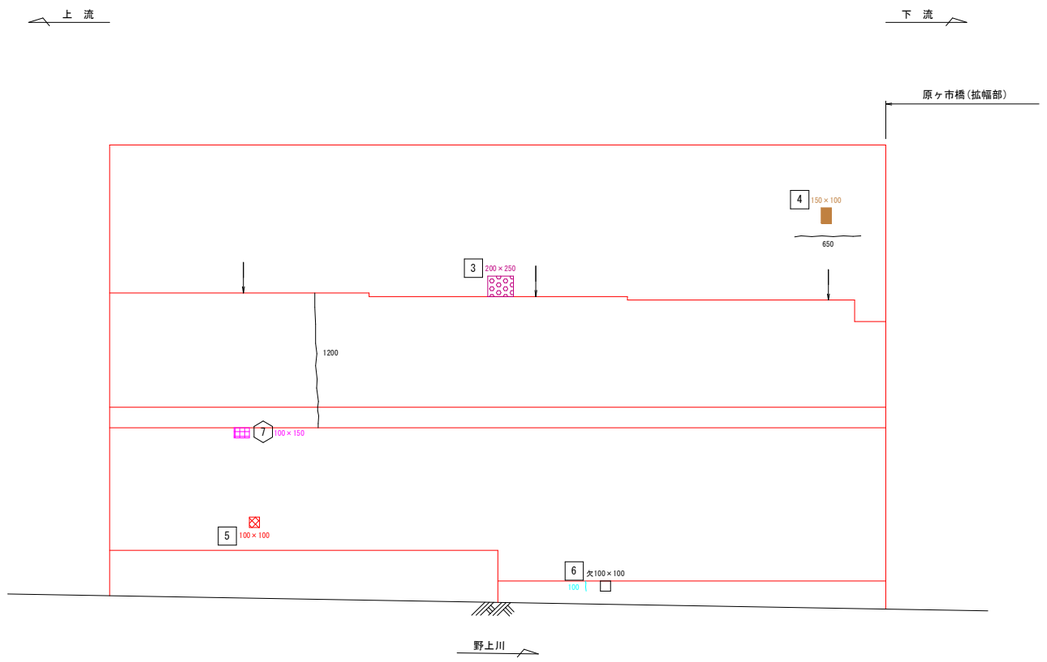
＜下部工＞
鉄筋かぶり＝38mm＋鉄筋径13mm＋20mm≒70mm
※鉄筋かぶり、鉄筋径は実測による。

断面修復工は、ハンドカッター等によりフェザーエッジにならないように施工すること。

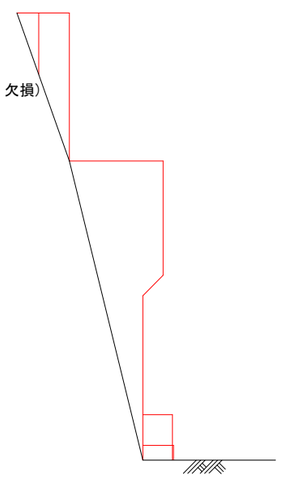
設計上の斫り深さは、基準に基づいて算出しているため、現地と差異がある場合、補修方針を考慮し適切な修復深さとすること。

※ 注記
- 本図は現地調査結果に基づき作成しているが、いずれも可能な範囲で近接し、確認したものである。したがって施工時には、必ず形状等確認したうえで施工を行う必要がある。
- 補修部位の施工に際しては、事前に既設コンクリート面の清掃を行い、数量等の確認をする必要がある。

A2橋台



上流側側面



ひび割れ注入工数量表
ひび割れ幅0.3mm以上

番号	ひび割れ幅（mm）	延　長（m）
①	0.40	0.85
②	0.40	0.95
	合計	1.80

断面修復工（剥離・鉄筋露出、豆板、欠損）
数量表

番号	縦(m)	横(m)	面積(m2)
1	0.15	0.05	0.0075
2	0.10	0.05	0.005
3	0.20	0.25	0.05
4	0.15	0.10	0.015
5	0.10	0.10	0.01
6	0.10	0.10	0.01
		合計	0.108

断面修復工（うき）　数量表

番号	縦(m)	横(m)	面積(m2)
1	0.30	0.35	0.105
2	0.10	0.40	0.040
3	0.25	0.10	0.025
4	0.10	0.20	0.020
5	0.35	0.20	0.070
6	0.35	0.30	0.105
7	0.10	0.15	0.015
		合計	0.380

起工　公共

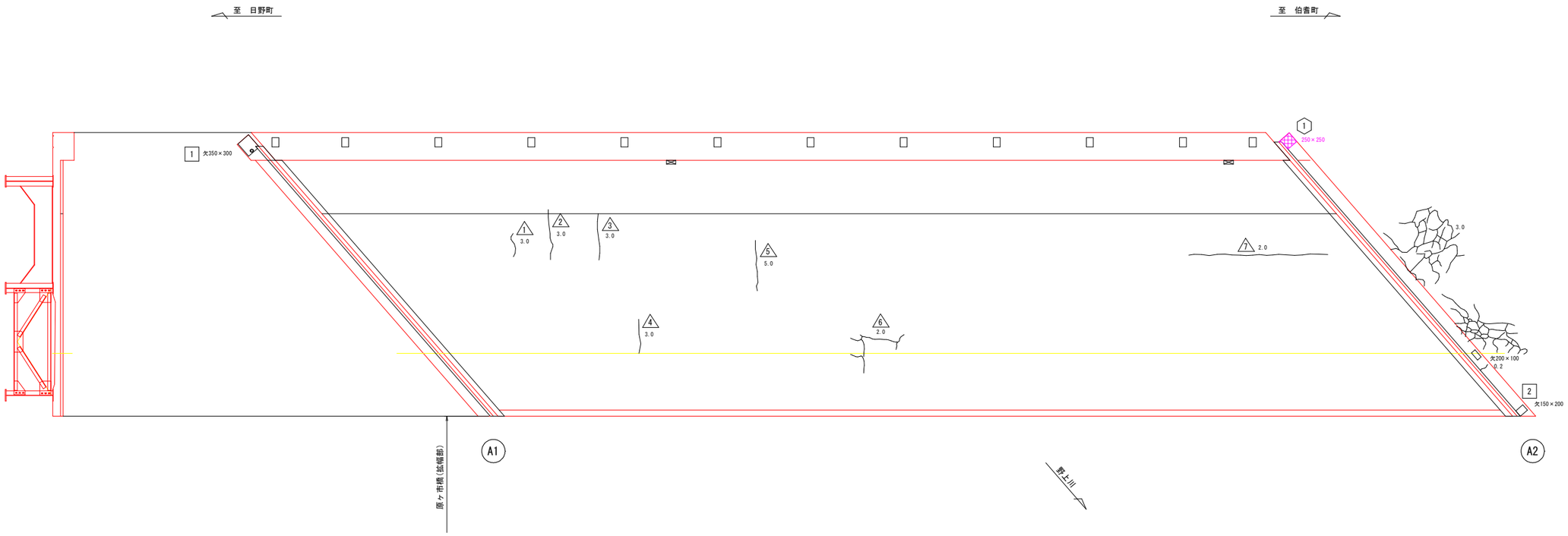
路線名	県道日野溝口線		
県道日野溝口線（原ヶ市橋）橋梁塗装工事（補助）			
図　名	原ヶ市橋　補修図（その２）		
位　置	鳥取県西伯郡伯耆町福岡		
縮　尺	1:30	単　位	mm
図　号	全　10　葉中の内　3		
令和　8　年度施行			鳥　取　県
鳥取県西部総合事務所米子県土整備局			

原ヶ市橋　補修図（その３）

＜舗装ひびわれ補修工、断面修復工＞

損傷凡例			補修対策工
ひび割れ	2.0mm以上		ひびわれ充填工
浮　き		U	断面修復工
その他（欠損）		欠	

〈橋 面〉



舗装ひびわれ充填工数量表

番号	ひび割れ幅（mm）	延　長（m）
1	3.00	0.55
2	3.00	1.10
3	3.00	1.00
4	3.00	0.74
5	5.00	1.10
6	2.00	1.93
7	2.00	3.00
	合計	9.42

断面修復工（うき）　数量表

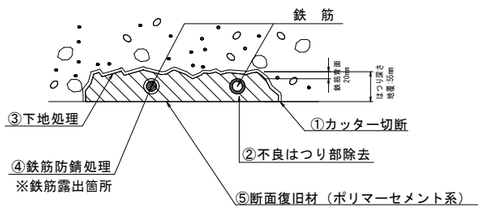
番号	縦(m)	横(m)	面積(m2)
1	0.25	0.25	0.063
		合計	0.063

断面修復工（欠損）　数量表

番号	縦(m)	横(m)	面積(m2)
1	0.35	0.30	0.105
2	0.15	0.20	0.030
		合計	0.135

※地覆部断面修復厚さは立ち上げ高さ(100mm)とする。

断面修復工（参考図）



※ 注記　はつり深さは、下記のように推定している。

＜地覆＞
鉄筋かぶり＝30mm＋鉄筋径13mm＋20mm≒65mm
※鉄筋かぶりは基準上の地覆鉄筋最小かぶりとする。

断面修復工は、ハンドカッター等によりフェザーエッジにならないように施工すること。

設計上の斫り深さは、基準に基づいて算出しているため、現地と差異がある場合、補修方針を考慮し適切な修復深さとすること。

※ 注記
- 本図は現地調査結果に基づき作成しているが、いずれも可能な範囲で近接し、確認したものである。したがって施工時には、必ず形状等確認したうえで施工を行う必要がある。
- 補修部位の施工に際しては、事前に既設コンクリート面の清掃を行い、数量等の確認をする必要がある。

起　工　公共

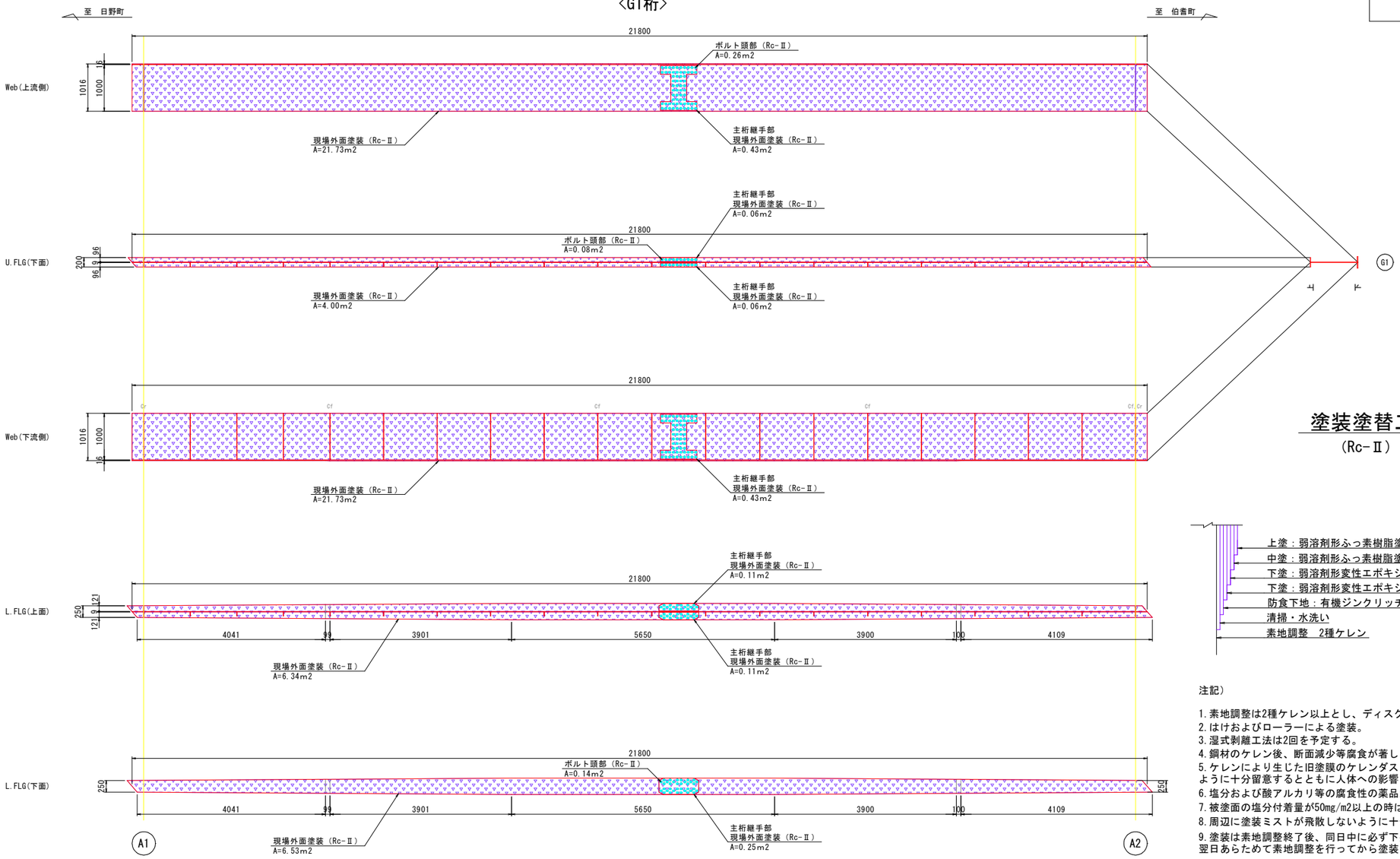
路線名	県道日野溝口線		
県道日野溝口線（原ヶ市橋）橋梁塗装工事（補助）			
図　名	原ヶ市橋　補修図（その３）		
位　置	鳥取県西伯郡伯耆町福岡		
縮　尺	1:50	単　位	mm
図　号	全　10　葉中の内　4		
令和　8　年度施行		鳥　取　県	
鳥取県西部総合事務所米子県土整備局			

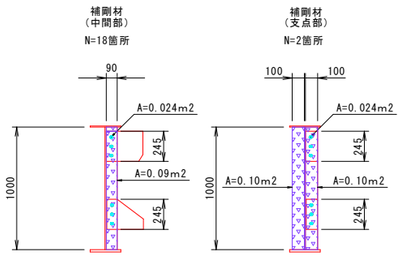
原ヶ市橋　補修図（その４）

＜塗替塗装工＞

塗装区分		記号
既設部材	現場外面塗装（Rc-Ⅱ）	
	2種ケレン	
	ボルト頭部（Rc-Ⅱ）	

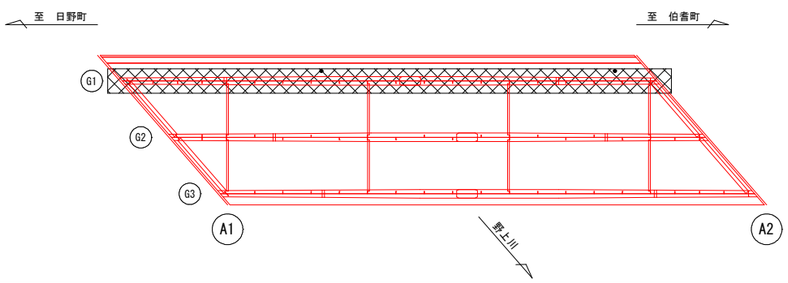
＜G1桁＞





※ボルト塗装面積はボルトおよびナット凸部表面積から接触部面積を差し引いた面積としている。

位置図



塗替塗装面積集計表

部　材	現場外面塗装	主桁継手部	ボルト頭部
G1主桁			
ウェブ上流側	21.73 m2	0.43 m2	0.26 m2
上フランジ下面	4.06 m2	0.12 m2	0.08 m2
ウェブ下流側	21.73 m2	0.43 m2	—
下フランジ上面	6.34 m2	0.22 m2	—
下フランジ下面	6.53 m2	0.25 m2	0.14 m2
合計	60.39 m2	1.45 m2	0.48 m2

部　材	現場外面塗装
支点部補剛材	0.80 m2
中間部補剛材	3.24 m2
ボルト頭部	0.48 m2
合計	4.52 m2

塗装塗替工
（Rc-Ⅱ）

※　施工手順

1　素地調整
↓
2　洗浄
↓
3　防食下地
↓
4　下塗
↓
5　下塗
↓
6　中塗
↓
7　上塗

注記）

1. 素地調整は2種ケレン以上とし、ディスクサンダー、ワイヤホイルなど電動工具と手工具を併用。
2. はけおよびローラーによる塗装。
3. 湿式剥離工法は2回を予定する。
4. 鋼材のケレン後、断面減少等腐食が著しい場合は、監督員と協議を行い、対策を検討する必要がある。
5. ケレンにより生じた旧塗膜のケレンダストは、有害物質を含んでいるため、周辺の土壌や河川を汚さないように十分留意するとともに人体への影響にも注意すること。
6. 塩分および酸アルカリ等の腐食性の薬品が付着している場合は、水洗いして除去する。
7. 被塗面の塩分付着量が50mg/m2以上の時は、高圧水洗いで塩分を除去する。
8. 周辺に塗装ミストが飛散しないように十分な養生など必要な措置を講ずることが必要である。
9. 塗装は素地調整終了後、同日中に必ず下塗りまたは補修塗りを行う。当日塗装できなかった場合には、翌日あらためて素地調整を行ってから塗装しなければならない。

※塗装工事について

本橋の塗膜には鉛、クロム、ＰＣＢの含有が確認されている。そのため、「鉛作業主任者」及び「特定化学物質作業主任者」を配置し、下記規則に準拠して作業を行うこと。

鉛中毒予防規則
特定化学物質障害予防規則
PCB廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法

また、鉛、クロム、PCBの溶出試験を行い、その結果、鉛（0.3mg/L）、クロム（1.5mg/L）、PCB（0.003mg/L）の溶出量が0.3mg/L以上であったあった場合は、特別管理産業廃棄物に区分されるため、監督官と協議の上持込み先などを決定すること。

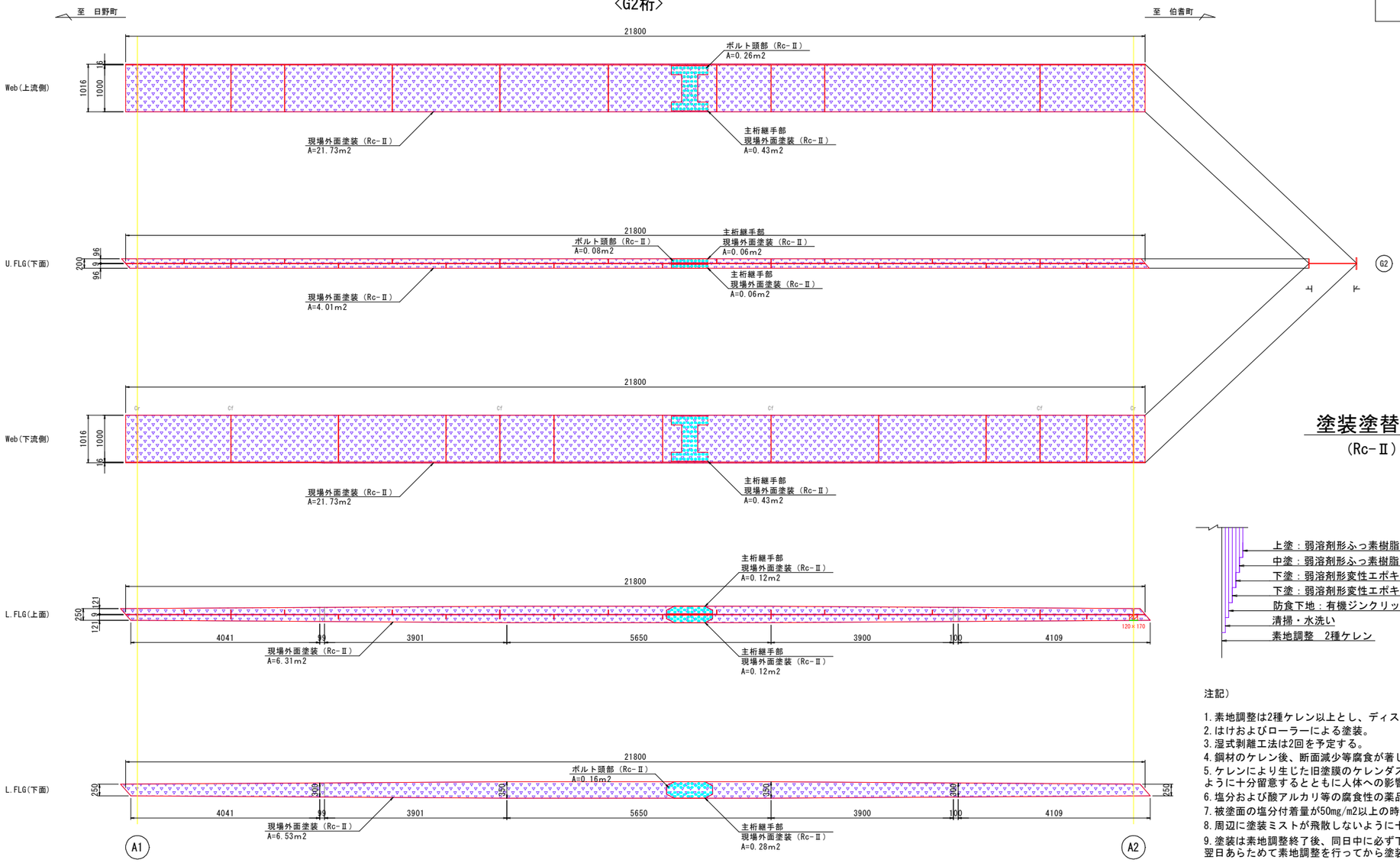
起工　公共

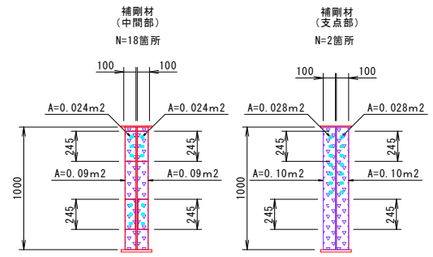
路線名	県道日野溝口線		
県道日野溝口線（原ヶ市橋）橋梁塗装工事（補助）			
図　名	原ヶ市橋　補修図（その４）		
位　置	鳥取県西伯郡伯耆町福岡		
縮　尺	1:50	単　位	mm
図　号	全　10　葉中の内　5		
令和　8　年度施行		鳥　取　県	
鳥取県西部総合事務所米子県土整備局			

原ヶ市橋　補修図（その５）

＜塗替塗装工＞

塗装区分		記号
既設部材	現場外面塗装（Rc-Ⅱ）	
	2種ケレン	
	ボルト頭部（Rc-Ⅱ）	





塗装塗替工

（Rc-Ⅱ）

※　施工手順

1　素地調整
↓
2　洗浄
↓
3　防食下地
↓
4　下塗
↓
5　下塗
↓
6　中塗
↓
7　上塗

注記）

1. 素地調整は2種ケレン以上とし、ディスクサンダー、ワイヤホイルなど電動工具と手工具を併用。
2. はけおよびローラーによる塗装。
3. 湿式剥離工法は2回を予定する。
4. 鋼材のケレン後、断面減少等腐食が著しい場合は、監督員と協議を行い、対策を検討する必要がある。
5. ケレンにより生じた旧塗膜のケレンダストは、有害物質を含んでいるため、周辺の土壌や河川を汚さないように十分留意するとともに人体への影響にも注意すること。
6. 塩分および酸アルカリ等の腐食性の薬品が付着している場合は、水洗いして除去する。
7. 被塗面の塩分付着量が50mg/m2以上の時は、高圧水洗いで塩分を除去する。
8. 周辺に塗装ミストが飛散しないように十分な養生など必要な措置を講ずることが必要である。
9. 塗装は素地調整終了後、同日中に必ず下塗りまたは補修塗りを行う。当日塗装できなかった場合には、翌日あらためて素地調整を行ってから塗装しなければならない。

※塗装工事について

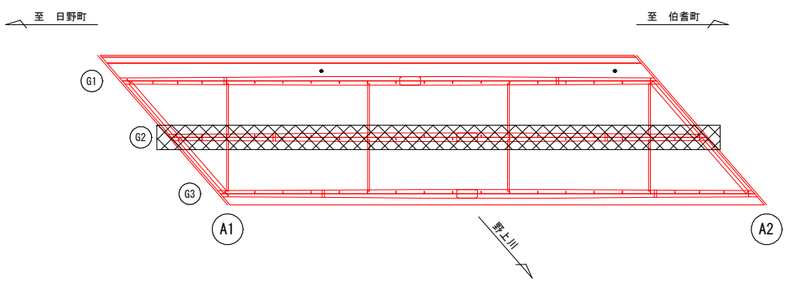
本橋の塗膜には鉛、クロム、ＰＣＢの含有が確認されている。そのため、「鉛作業主任者」及び「特定化学物質作業主任者」を配置し、下記規則に準拠して作業を行うこと。

鉛中毒予防規則
特定化学物質障害予防規則
PCB廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法

また、鉛、クロム、PCBの溶出試験を行い、その結果、鉛（0.3mg/L）、クロム（1.5mg/L）、PCB（0.003mg/L）の溶出量が0.3mg/L以上であったあった場合は、特別管理産業廃棄物に区分されるため、監督官と協議の上持込み先などを決定すること。

※ボルト塗装面積はボルトおよびナット凸部表面積から接触部面積を差し引いた面積としている。

位置図



塗替塗装面積集計表

部　材	現場外面塗装	主桁継手部	ボルト頭部
G2主桁			
ウェブ上流側	21.73 m2	0.43 m2	0.26 m2
上フランジ下面	4.01 m2	0.12 m2	0.08 m2
ウェブ下流側	21.73 m2	0.43 m2	—
下フランジ上面	6.31 m2	0.24 m2	—
下フランジ下面	6.53 m2	0.28 m2	0.16 m2
合計	60.31 m2	1.50 m2	0.50 m2

部　材	現場外面塗装
支点部補剛材	0.80 m2
中間部補剛材	6.48 m2
ボルト頭部	0.98 m2
合計	8.26 m2

起工　公共

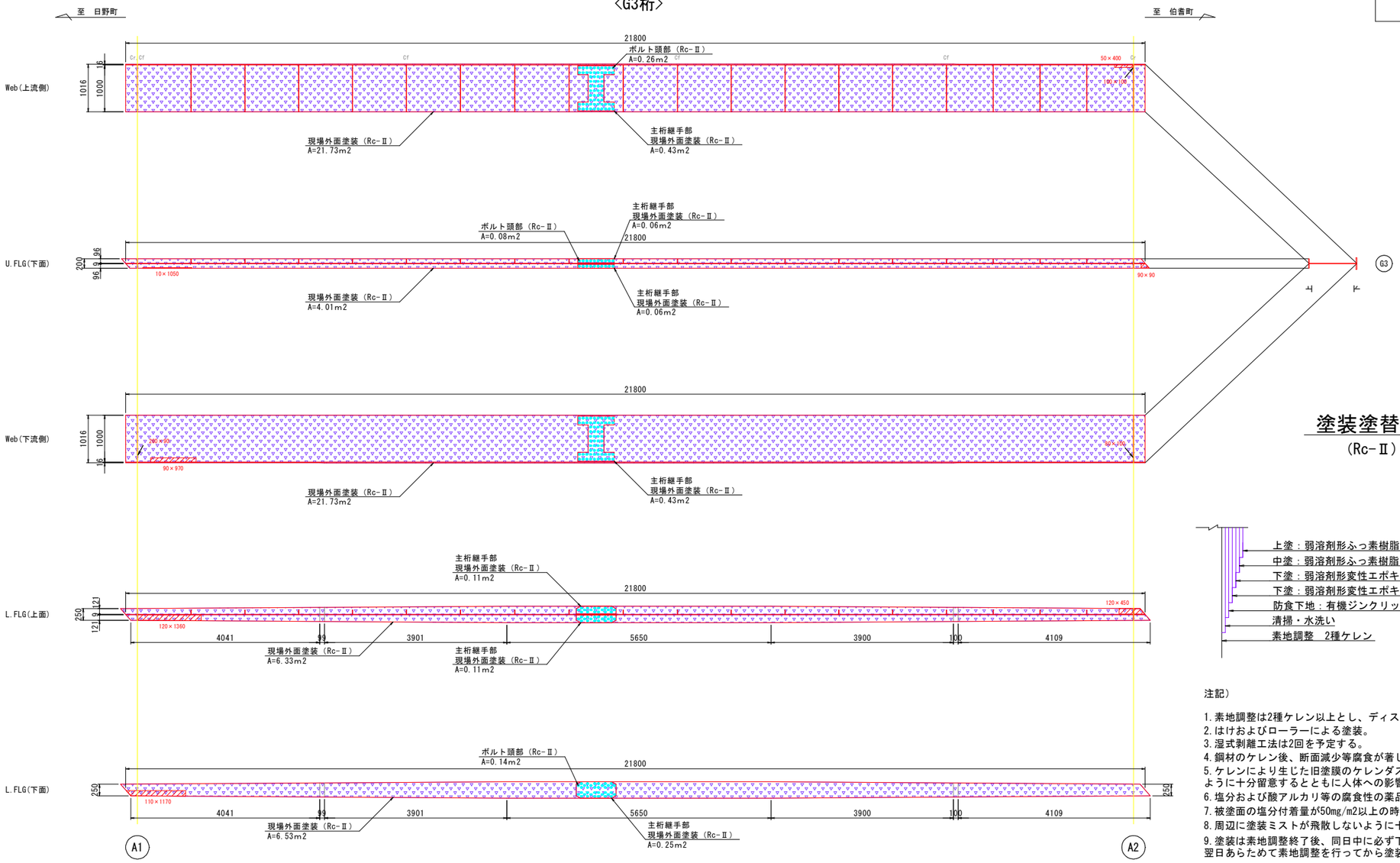
路線名	県道日野溝口線		
県道日野溝口線（原ヶ市橋）橋梁塗装工事（補助）			
図名	原ヶ市橋　補修図（その５）		
位置	鳥取県西伯郡伯耆町福岡		
縮尺	1:50	単位	mm
図号	全 10 葉中の内 6		
令和 8 年度施行		鳥取県	
鳥取県西部総合事務所米子県土整備局			

原ヶ市橋　補修図（その６）

＜塗替塗装工＞

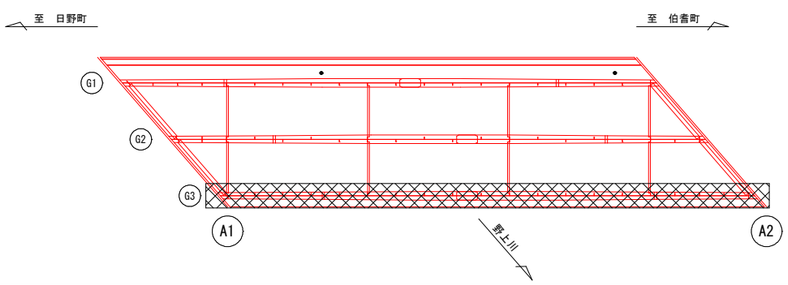
塗装区分		記号
既設部材	現場外面塗装（Rc-Ⅱ）	
	2種ケレン	
	ボルト頭部（Rc-Ⅱ）	

〈G3桁〉



※ボルト塗装面積はボルトおよびナット凸部表面積から接触部面積を差し引いた面積としている。

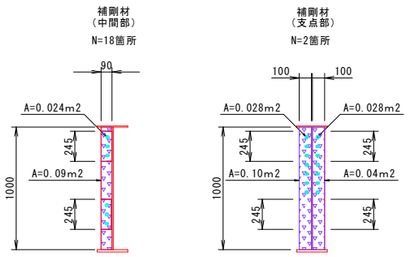
位置図



塗替塗装面積集計表

部　材	現場外面塗装	主桁継手部	ボルト頭部
G2主桁			
ウェブ上流側	21.73 m2	0.43 m2	0.26 m2
上フランジ下面	4.01 m2	0.12 m2	0.08 m2
ウェブ下流側	21.73 m2	0.43 m2	—
下フランジ上面	6.33 m2	0.22 m2	—
下フランジ下面	6.53 m2	0.25 m2	0.14 m2
合計	60.33 m2	1.45 m2	0.48 m2

部　材	現場外面塗装
支点部補剛材	0.80 m2
中間部補剛材	3.24 m2
ボルト頭部	0.54 m2
合計	4.58 m2



塗装塗替工
（Rc-Ⅱ）

※　施工手順

1　素地調整
↓
2　洗浄
↓
3　防食下地
↓
4　下塗
↓
5　下塗
↓
6　中塗
↓
7　上塗

注記）

1. 素地調整は2種ケレン以上とし、ディスクサンダー、ワイヤホイルなど電動工具と手工具を併用。
2. はけおよびローラーによる塗装。
3. 湿式剥離工法は2回を予定する。
4. 鋼材のケレン後、断面減少等腐食が著しい場合は、監督員と協議を行い、対策を検討する必要がある。
5. ケレンにより生じた旧塗膜のケレンダストは、有害物質を含んでいるため、周辺の土壌や河川を汚さないように十分留意するとともに人体への影響にも注意すること。
6. 塩分および酸アルカリ等の腐食性の薬品が付着している場合は、水洗いして除去する。
7. 被塗面の塩分付着量が50mg/m2以上の時は、高圧水洗いで塩分を除去する。
8. 周辺に塗装ミストが飛散しないように十分な養生など必要な措置を講ずることが必要である。
9. 塗装は素地調整終了後、同日中に必ず下塗りまたは補修塗りを行う。当日塗装できなかった場合には、翌日あらためて素地調整を行ってから塗装しなければならない。

※塗装工事について

本橋の塗膜には鉛、クロム、ＰＣＢの含有が確認されている。そのため、「鉛作業主任者」及び「特定化学物質作業主任者」を配置し、下記規則に準拠して作業を行うこと。

鉛中毒予防規則
特定化学物質障害予防規則
PCB廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法

また、鉛、クロム、PCBの溶出試験を行い、その結果、鉛（0.3mg/L）、クロム（1.5mg/L）、PCB（0.003mg/L）の溶出量が0.3mg/L以上であったあった場合は、特別管理産業廃棄物に区分されるため、監督官と協議の上持込み先などを決定すること。

起工　公共

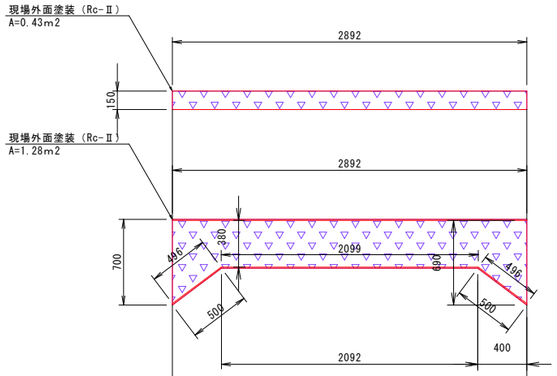
路線名	県道日野溝口線		
県道日野溝口線（原ヶ市橋）橋梁塗装工事（補助）			
図名	原ヶ市橋　補修図（その６）		
位置	鳥取県西伯郡伯耆町福岡		
縮尺	1:50	単位	mm
図号	全　10　葉中の内　7		
令和　8　年度施行			鳥　取　県
鳥取県西部総合事務所米子県土整備局			

原ヶ市橋　補修図（その７）

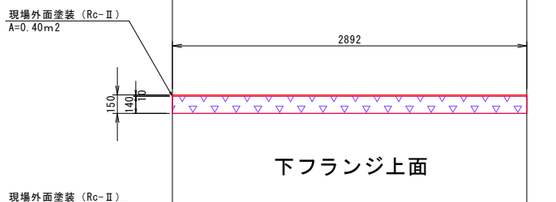
＜塗替塗装工＞

横桁（A2側）

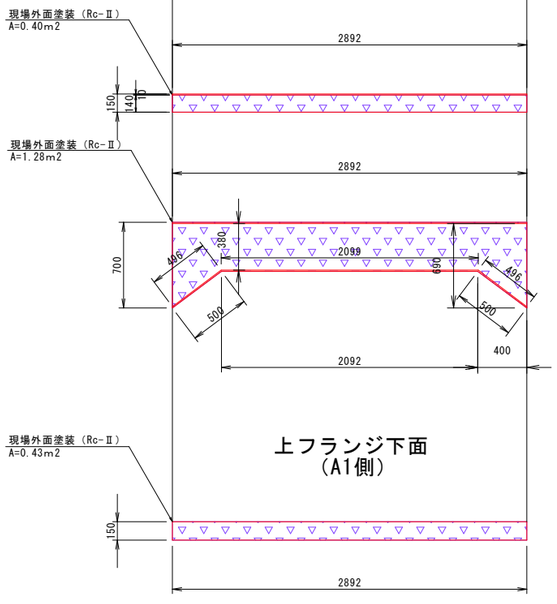
上フランジ上面



上フランジ下面



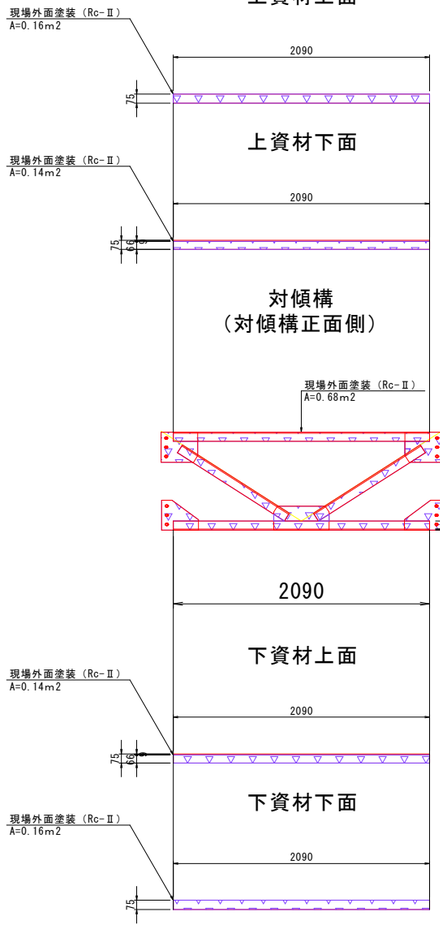
下フランジ上面



上フランジ下面（A1側）

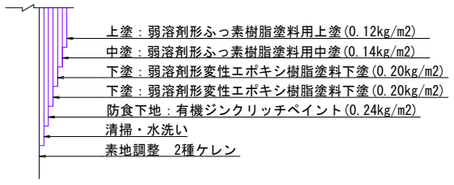
対傾構

上資材上面



塗装塗替工

（Rc-Ⅱ）



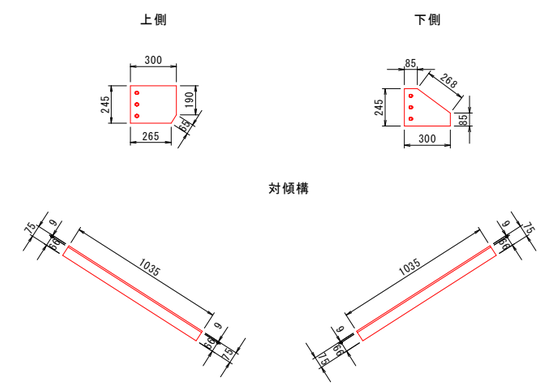
塗装区分		記号
既設部材	現場外面塗装（Rc-Ⅱ）	
	2種ケレン	
	ボルト頭部（Rc-Ⅱ）	

※　施工手順

1　素地調整
↓
2　洗浄
↓
3　防食下地
↓
4　下塗
↓
5　下塗
↓
6　中塗
↓
7　上塗

部材寸法詳細図

ラテラルガセット



塗替塗装面積集計表

部　材	現場外面塗装
横桁	5.51　m2
対傾構	2.98　m2
合計	8.49　m2

注記）

1. 素地調整は2種ケレン以上とし、ディスクサンダー、ワイヤホイルなど電動工具と手工具を併用。
2. はけおよびローラーによる塗装。
3. 湿式剥離工法は2回を予定する。
4. 鋼材のケレン後、断面減少等腐食が著しい場合は、監督員と協議を行い、対策を検討する必要がある。
5. ケレンにより生じた旧塗膜のケレンダストは、有害物質を含んでいるため、周辺の土壌や河川を汚さないように十分留意するとともに人体への影響にも注意すること。
6. 塩分および酸アルカリ等の腐食性の薬品が付着している場合は、水洗いして除去する。
7. 被塗面の塩分付着量が50mg/m2以上の時は、高圧水洗いで塩分を除去する。
8. 周辺に塗装ミストが飛散しないように十分な養生など必要な措置を講ずることが必要である。
9. 塗装は素地調整終了後、同日中に必ず下塗りまたは補修塗りを行う。当日塗装できなかった場合には、翌日あらためて素地調整を行ってから塗装しなければならない。

※塗装工事について

本橋の塗膜には鉛、クロム、ＰＣＢの含有が確認されている。そのため、「鉛作業主任者」及び「特定化学物質作業主任者」を配置し、下記規則に準拠して作業を行うこと。

鉛中毒予防規則
特定化学物質障害予防規則
PCB廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法

また、鉛、クロム、PCBの溶出試験を行い、その結果、鉛（0.3mg/L）、クロム（1.5mg/L）、PCB（0.003mg/L）の溶出量が0.3mg/L以上であったあった場合は、特別管理産業廃棄物に区分されるため、監督官と協議の上持込み先などを決定すること。

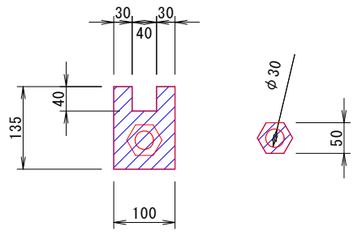
起工　公共

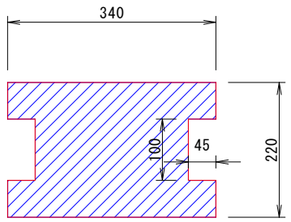
路線名	県道日野溝口線		
県道日野溝口線（原ヶ市橋）橋梁塗装工事（補助）			
図名	原ヶ市橋　補修図（その７）		
位置	鳥取県西伯郡伯耆町福岡		
縮尺	1:50	単位	mm
図号	全　10　葉中の内　8		
令和　8　年度施行		鳥　取　県	
鳥取県西部総合事務所米子県土整備局			

原ヶ市橋　補修図（その８）

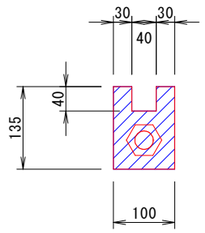
＜支承防錆工＞

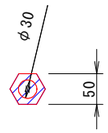
Fix　　N=3基

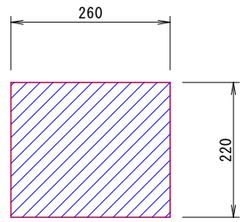


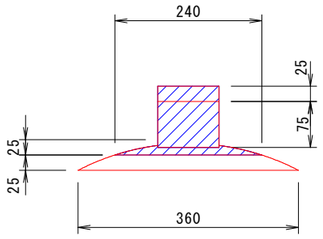


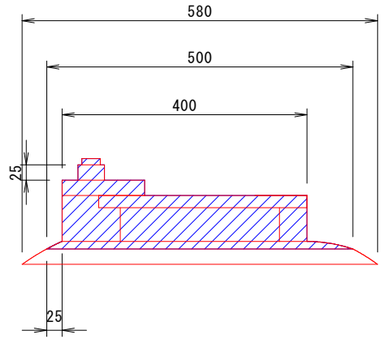
Mov　　N=3基

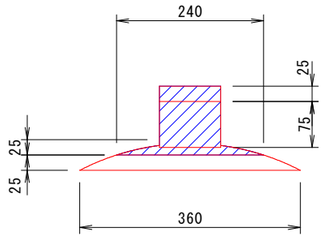


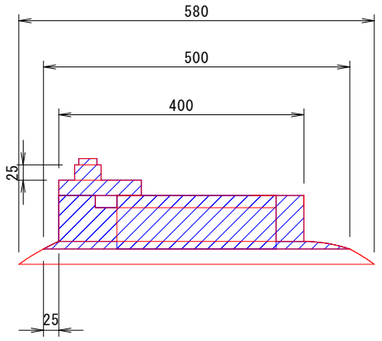






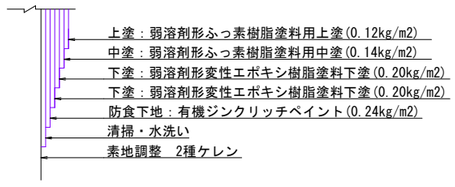






塗装塗替工

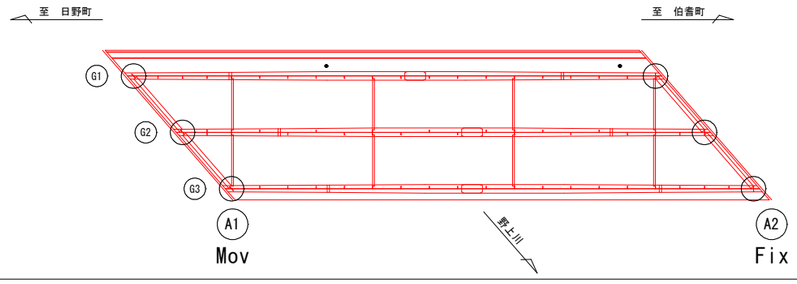
（Rc-Ⅱ）



※　施工手順

1　素地調整
↓
2　洗浄
↓
3　防食下地
↓
4　下塗
↓
5　下塗
↓
6　中塗
↓
7　上塗

位置図



注記）

1. 素地調整は2種ケレン以上とし、ディスクサンダー、ワイヤホイルなど電動工具と手工具を併用。
2. はけおよびローラーによる塗装。
3. 湿式剥離工法は2回を予定する。
4. 鋼材のケレン後、断面減少等腐食が著しい場合は、監督員と協議を行い、対策を検討する必要がある。
5. ケレンにより生じた旧塗膜のケレンダストは、有害物質を含んでいるため、周辺の土壌や河川を汚さないように十分留意するとともに人体への影響にも注意すること。
6. 塩分および酸アルカリ等の腐食性の薬品が付着している場合は、水洗いして除去する。
7. 被塗面の塩分付着量が50mg/m2以上の時は、高圧水洗いで塩分を除去する。
8. 周辺に塗装ミストが飛散しないように十分な養生など必要な措置を講ずることが必要である。
9. 塗装は素地調整終了後、同日中に必ず下塗りまたは補修塗りを行う。当日塗装できなかった場合には、翌日あらためて素地調整を行ってから塗装しなければならない。

※塗装工事について

本橋の塗膜には鉛、クロム、ＰＣＢの含有が確認されている。そのため、「鉛作業主任者」及び「特定化学物質作業主任者」を配置し、下記規則に準拠して作業を行うこと。

鉛中毒予防規則
特定化学物質障害予防規則
PCB廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法

また、鉛、クロム、PCBの溶出試験を行い、その結果、鉛（0.3mg/L）、クロム（1.5mg/L）、PCB（0.003mg/L）の溶出量が0.3mg/L以上であったあった場合は、特別管理産業廃棄物に区分されるため、監督官と協議の上持込み先などを決定すること。

支承防錆工　数量表

部　材	算　式		
支　承			
MOVE	0.24×3	=	0.72　m2
FIX	0.28×3	=	0.84　m2
	合計	=	1.56　m2

※塗装面積はデザインデータブックの支承規格より推定している。

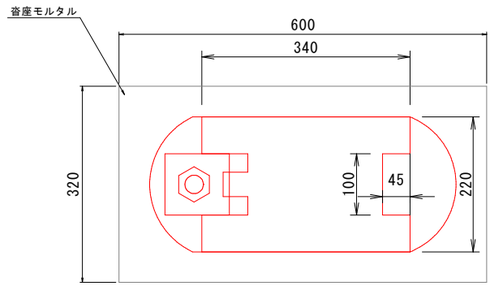
起　工　公共

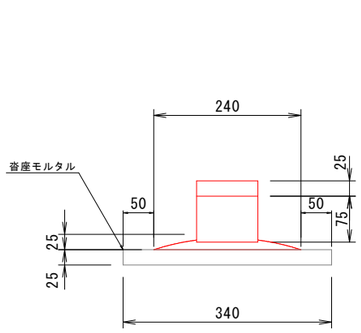
路線名	県道日野溝口線		
県道日野溝口線（原ヶ市橋）橋梁塗装工事（補助）			
図　名	原ヶ市橋　補修図（その８）		
位　置	鳥取県西伯郡伯耆町福岡		
縮　尺	1:5	単　位	mm
図　号	全　10　葉中の内　9		
令和　8　年度施行			鳥　取　県
鳥取県西部総合事務所米子県土整備局			

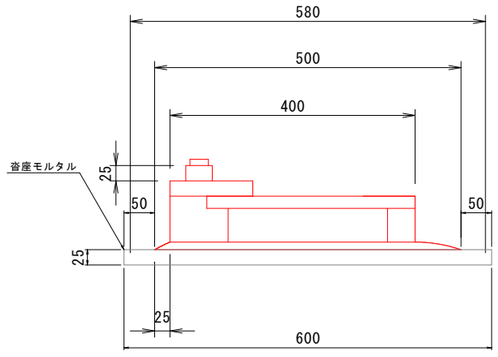
原ヶ市橋　補修図（その９）

＜沓座モルタル補修工＞

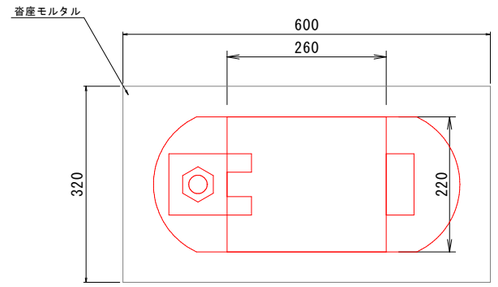
Fix

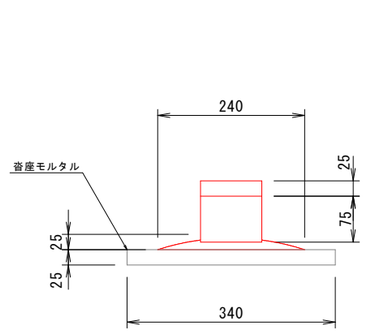


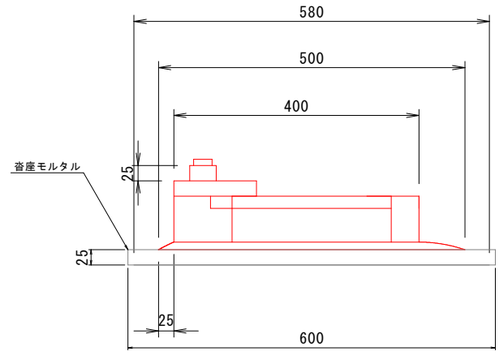




Mov



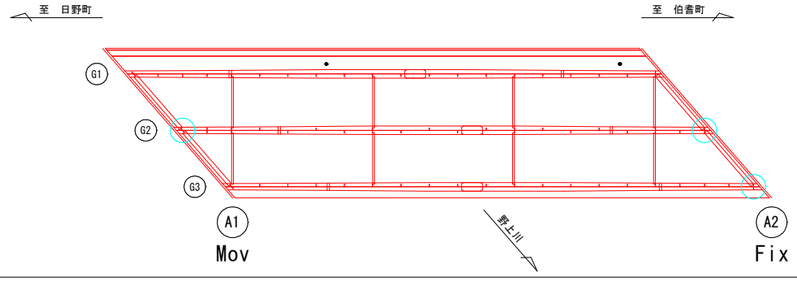




沓座モルタル補修工　数量表

工　種・材　料	規　格	算　式		
チッピング工		0.6×0.32×3	=	1.15 m2
型枠		(0.6×0.025×2+0.34×0.025×2) ×3	=	0.14 m2
沓座無収縮モルタル工		0.6×0.32×0.025×3	=	0.01 m3
無収縮モルタル	無収縮モルタル	0.6×0.32×0.025×3	=	0.01 m3

位置図



起　工　公共

路線名	県道日野溝口線		
県道日野溝口線（原ヶ市橋）橋梁塗装工事（補助）			
図　名	原ヶ市橋　補修図（その９）		
位　置	鳥取県西伯郡伯耆町福岡		
縮　尺	1:5	単　位	mm
図　号	全　10　葉中の内　10		
令和　8　年度施行		鳥　取　県	
鳥取県西部総合事務所米子県土整備局			